

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備業務 報告書（概要版）

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備・実証実験業務
及び地域観光交通運行計画策定業務

平成 27 年 3 月
沖縄県糸満市

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備業務 報告書（概要版）

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備・実証実験業務
及び地域観光交通運行計画策定業務

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備業務報告書（概要版） 目次

1. 本事業の背景と目的	1
2. 観光プログラムの企画等	2
3. 観光ガイドの養成.....	10
4. 関連施設との連携	17
5. プロモーション活動等.....	18

1. 本事業の背景と目的

糸満市と那覇市を結ぶ既存路線バスが市への最短経路となる国道 331 号バイパス（豊見城糸満道路）を経由しておらず、市内に立地する沖縄県を代表する観光資源や大型宿泊施設との結節も弱いなど、公共交通利用を希望する観光客のニーズに対応できていない状況にあった。

そのため、平成 24 年度には新たな公共交通の可能性・方向性を示すとともに、平成 25 年度には先行的に地域の骨格となる公共交通として、那覇空港から大型宿泊施設や観光地を経由するバス路線（以下、「糸満市～那覇空港直行バス路線」という。）の実証実験計画を策定している。

本事業は、平成 25 年度に策定した糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験運行計画に基づき、実証実験に向けた準備業務として、観光プログラム企画等、観光ガイドの養成、関連施設との連携、プロモーション活動等を行うものである。

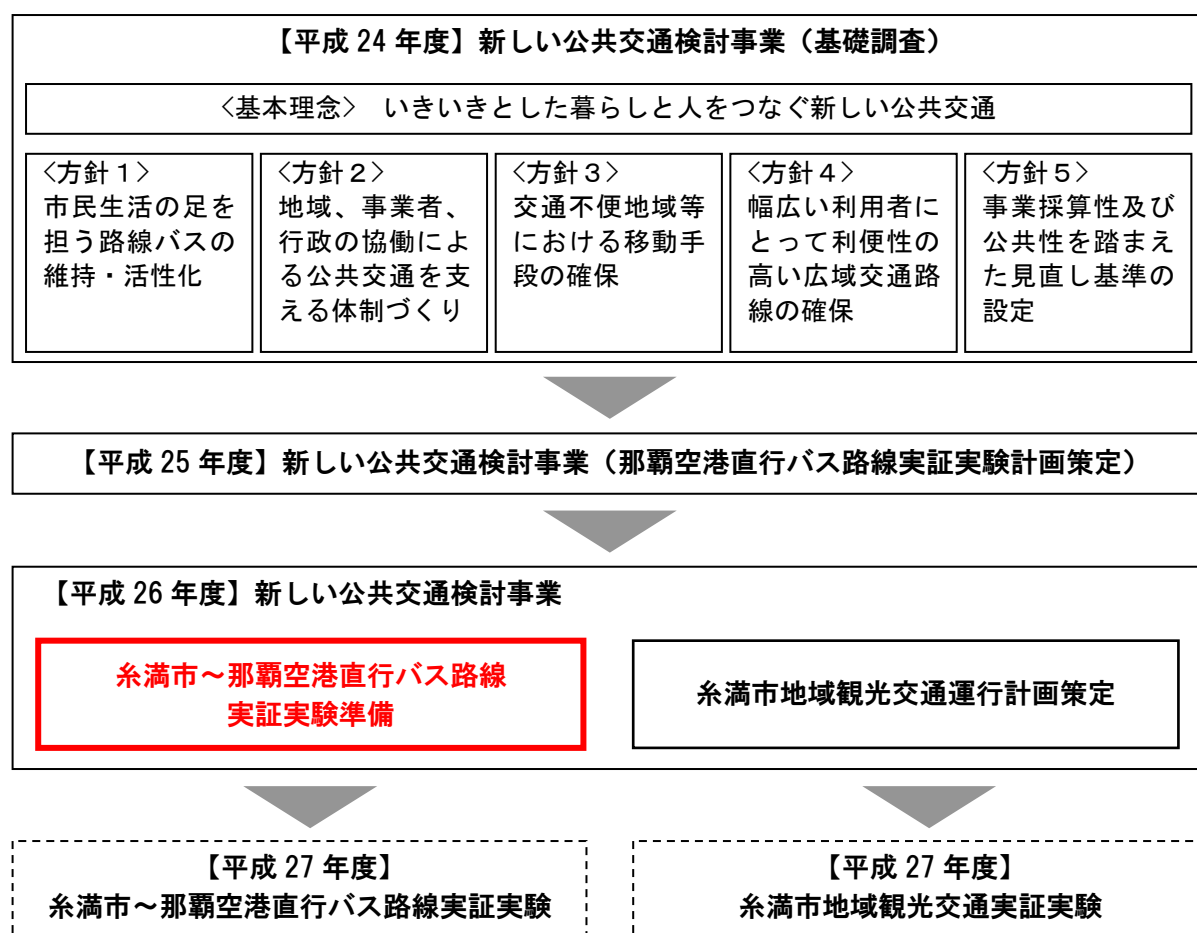


図 1 本事業の位置づけ（赤字が本報告書の範囲）

2. 観光プログラムの企画等

2-1. 観光資源の再調査・把握

(1) 既存プログラムの把握

あ・るつく糸満、米須村丸ごと生活博物館、琉球ガラス村、琉球漆器、ひめゆり会館、いちまりん、NPOハマスーキで実施されている体験プログラムの催行日・内容・参加条件・予約方法を把握した。

- あ・るつく糸満は、糸満市観光協会主催で地元ガイドと一緒に集落を歩くコース。今まで知らなかった糸満市の資源を発見できる。リピーター・小学生高学年以上向けとなっている。
- 琉球ガラス村では、最も多く体験コースがあり毎日開催している。5分～20分程度で参加できるものが多い。小さな子供からお年寄りまで誰でも気軽に楽しめる。初心者向けとなっている。
- 米須村丸ごと博物館は、米須を愛する地元民が米須の魅力ある資源を案内する。また、地元食材を使った料理を味わうことができる。リピーター向け、交流型観光となっている。
- その他、琉球漆器、美ら島沖縄の彩食美味ひめゆり会館で体験コースがある。いちまりんではマリン体験コースが豊富で、ハマスーキではサバニ体験ができる。

(2) 糸満市地域資源の把握

糸満市観光ガイドブック、糸満自慢、あ・るつく、米須村丸ごと博物館資源マップより、大きな観光施設から小さなものまで幅広く拾い、所在箇所及び施設概要の概要を整理し、糸満市観光資源を把握した。観光資源の多くは国道沿線またはその近くにある。国道から中に入るとポツポツと小さな観光資源がある。

P3に糸満市観光資源マップを示す(図2参照)

(3) 糸満の特産品の把握

「食」はちんすこう、沖縄そば、海ぶどう、泡盛、かまぼこ、塩などがある。「工芸品」は琉球ガラス、琉球漆器、紅型(ランチバッグ・大型バック)、草木染め、三線、陶器などがある。



(4) 糸満の旧暦行事とイベント

一年を通して、さまざまな行事やイベントが開催されている。ハーレーや綱引きなど旧暦で執り行う行事が盛んである。ピースフルイルミネーションは人気のあるイベントとなっている。



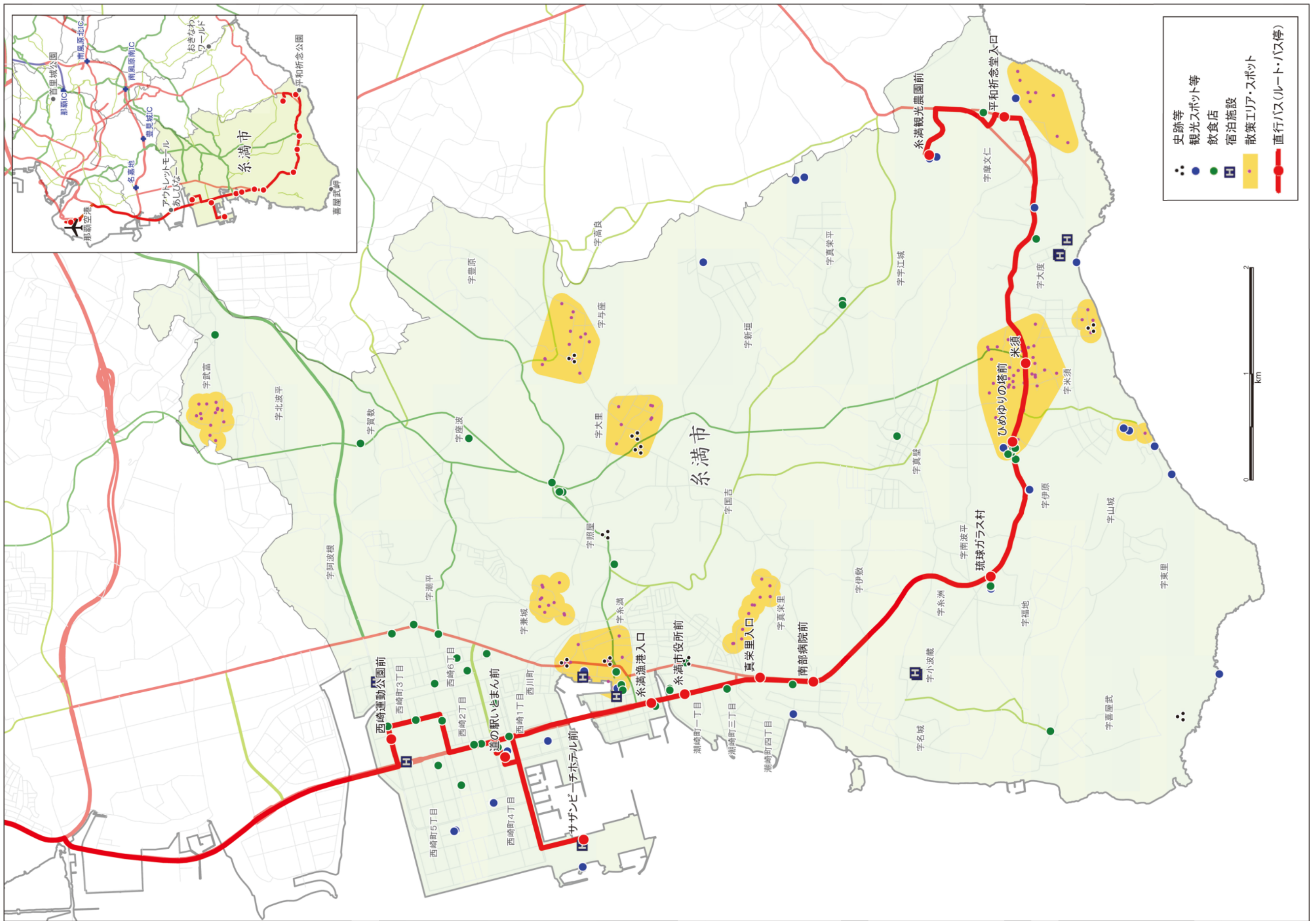


図2 糸満市観光資源マップ (全体)

2-2. ターゲットとなる利用者像の明確化と企画立案

(1) 観光客の動向把握

- 沖縄県の観光客数は、平成20年度の593万4,300人をピークに減少傾向にあったが、平成25年度は658万300人と過去最高を記録した。観光客のうち、国内観光客595万3,100人(90.5%)、外国人観光客が62万7,200人(9.5%)である。国内客・外国客ともに過去最高となった。外国人観光客は、「台湾」が41%と最も多く、次いで「韓国」が17%、「香港」が15%、「中国本土」が11%である。
- 観光客の移動手段は「レンタカー」が62%と最も高く「路線バス」の利用は5.1%と低い。訪問回数が多いほど「観光バス」の利用が減少し「路線バス」の利用率が高くなる傾向。
- 2泊か3泊の観光客が多く、個人旅行やフリープラン型パック旅行が人気。
- 観光客は観光地めぐりや沖縄料理、保養・休養、ショッピング、マリンレジャーを楽しんでいる。
- 最も印象に残った活動は「海水浴・マリンレジャー」が多い。「エコツアー」「伝統工芸・芸能体験」は満足度が高い。飲食は「沖縄そば・沖縄家庭料理店」が最も印象に残っており、「カフェ・喫茶店」で満足度が高い。ほとんどの観光客が「菓子類」をお土産として購入しており印象も残っており満足度も高い。「工芸品」は購入する割合は低い、印象や満足度は高い。
- 観光客1人当たりの県内消費額は年々減少傾向にある。

(2) 糸満市を訪れる観光客の動向把握

- 糸満市を訪れる観光客は夜間に比べ昼間の観光客が大きく増加。特に10月の平日は極めて高く、修学旅行の影響が強くとされていると思われる。
- レンタカー観光客の訪問箇所では、ひめゆりの塔、道の駅いとまん、平和祈念公園、琉球ガラス村、美々ビーチいとまんなど主要観光施設への訪問が多い。主要幹線道路を離れると少なく、周遊観光を促進させる必要がある。

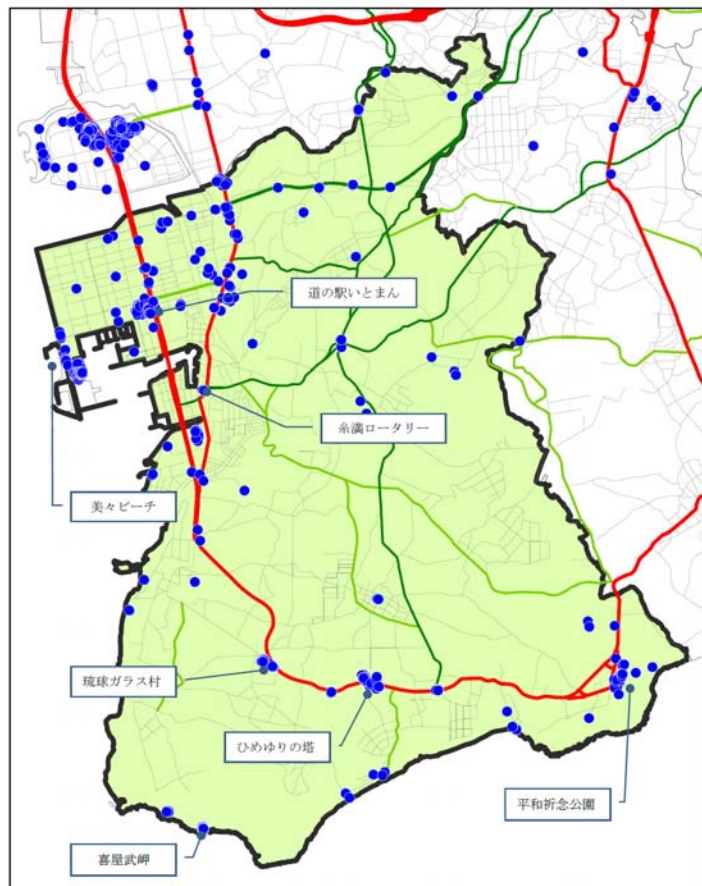


図3 レンタカー観光客の訪問箇所（対象592組、H23～H25年）

(3) 修学旅行生の動向把握

沖縄への修学旅行は、年間約 2,500 校前後、40 万人～45 万人で推移しており、旅行時期は 5 月、10 月、11 月、12 月に集中しており、関東圏（高校）、関西圏（中学校）からの学校が多い。中学校は平和学習が中心で、高校は体験型メニューが多い。最近では中学校・高校ともに民泊を実施する学校が増えてきている。

①旅行日数等

中学校の沖縄修学旅行の時期は 5 月に 2 泊 3 日、高校の沖縄修学旅行の時期は 10 月～12 月に 3 泊 4 日を組む学校が多い。私学は公立に比べて旅行日数が長くなる傾向がある。

②旅行日程

中学校の旅行日程は、初日は団体行動、中日はクラス別行動または民泊、最終日は首里城または国際通り周辺で散策という日程がほとんどである。最終日の 2、3 時間（昼食込）が自由行動となっているが、お土産を購入するための時間である。

高校の旅行日程は、初日は団体行動、中日は班行動（タクシー観光）または民泊、最終日は首里城または国際通り周辺で散策という日程がほとんどである。中日のタクシー観光による班行動は、班でテーマを決め事前学習を行っており、さらに観光する箇所が決まっている。

③民泊

最近は、「観て回る」旅から体験して「感じる」、そこから得たものを実生活に「生かす」学びの旅へと変化しており、中学・高校ともに「深い体験・交流活動」ができる民泊を実施する学校が増えてきている。

(4) 観光客ニーズ調査

沖縄を訪れた観光客に対し、上記（1）～（3）を踏まえ作成した観光プログラム企画（素案・図 4 参照）への意見や糸満市に対するイメージ、空港滞在時間等を把握するため、ヒアリング形式によるアンケート調査を実施した。

①調査概要

- ・調査日時：平成 26 年 10 月 3 日（金）～5 日（日）の 3 日間、12 時～18 時
- ・調査場所：那覇空港ビルディング内（2 階出発ロビー）
- ・サンプル数：154 組

糸満市観光体験プログラム ※全てのコースに案内ガイドがつきます。

① 海人糸満！海人工房資料館見学 & 日本最南端の駅魅力散策 世界に誇る糸満漁業の伝統文化を次世代に継承する事を目的とした「糸満海人工房資料館」見学と隣接の最南端の駅「道の駅いばら」にて、糸満市の特産品や「お魚センター」にてお魚解体ショーなどを見学！ ●期間 通年 ●所要時間 2.5 時間（バス移動時間込） ●内容 糸満海人工房（10 分）・道の駅いばら（10 分） ※お魚センターへは別途料金がかかります。	② 本島最南端の景色を満喫♪ ～喜屋武岬・赤瓦の古民家などをめぐる～ 沖縄本島最南端の糸満市！喜屋武岬や国の登録文化財でもある赤瓦の古民家で、昔の沖縄を感じながらの食事。沖縄貝塚時代後期の遺跡「米須貝塚」を見学。そして、海人糸満で数回盛んな海ぶどうの摘み取り体験♪ ●期間 通年 ●所要時間 5.0 時間（バス移動時間込） ●内容 喜屋武岬（10 分）・赤瓦の古民家（10 分） ※喜屋武岬～赤瓦の古民家まで約 1.5 時間（徒歩） ご食事・お土産をお楽しみください。	③ 米須集落を満喫♪ ～米須 村丸ごと生活博物館めぐり～ 米須集落の散策 4 コースや地域の食材を使ったお料理教室！糸満市南部にある米須集落を満喫出来るコースです！米須に生き、米須を愛するシマムチュウがおもてなしの心で皆様をお迎えします。 ●期間 通年 ●所要時間 3.0～4.5 時間（バス移動時間込） ●内容 米須集落の散策（10 分）・お料理教室（10 分） ※散策コース（1 コース）は別途料金（10 分） 地元の人とふれあいたい人にオススメです。
④ 世界遺産になりたいな ～南山城跡散策～ 糸満市大里にある南山城跡を散策。大里は東に与座岳、西に南山城跡を望む位置にあり、「おもしろうし」に「おおさと」とからなる「かてしあみつからる」といわれ、長い歴史があり、豊富な水と自然に恵まれた、うるわしいしま（集落）です。 ●期間 通年 ●所要時間 5.0 時間（バス移動時間込） ●内容 南山城跡散策（10 分）・平和記念公園（10 分） ※お土産は別途料金がかかります。	⑤ 沖縄戦終焉の地を訪ねる ～戦跡めぐり、平和への願い～ 沖縄戦終焉の地として「世界の恒久平和を祈願し、発信する場所」糸満市にて戦跡めぐりと平和を願う。さらに、第二次世界大戦で亡くなったすべての戦没者の慰霊の為、「ブタヤウカ」の聖なる菩提樹の分け樹が贈呈され、2014 年に植樹された「沖縄菩提樹苑」を見学。 ●期間 通年 ●所要時間 5.0 時間（バス移動時間込） ●内容 沖縄菩提樹苑（10 分）・平和記念公園（10 分） ※お土産は別途料金がかかります。	⑥ 旧暦文化のまち糸満を楽しむ ～糸満の旧暦行事・イベントに参加しよう～ 沖縄のなかでも独特の時間が流れている糸満。旧正月、糸満ハーレー、糸満大綱引など旧暦文化を大切にしています。また、エイサー祭り、鹿嶋舟フェスティバル、イルミネーションなど、1 年を通して季節ごとの楽しいイベントがあります。 ●期間 各開催日 ●所要時間 半日～1 日（バス移動時間込） ●内容 糸満ハーレー・大綱引・イルミネーションなど ※各行事・イベントに準ずる 地元伝統行事やイベントを体験したいひとにおすすめです。

図 4 観光客へ示した観光プログラム

②調査結果概要

- 31 都道府県に居住する観光客からの回答が得られた。最も多かったのは大阪府であり次いで東京都、地方別でも関東・近畿に居住する回答者が多い傾向にある。この傾向は近年の入域観光客統計（沖縄県）でも東京・関西方面からの観光客が多いなど、同様な傾向が見られる。
- 空港滞在時間は2，3時間との回答が多かったが、ショッピングや手続きに要する時間を考慮すると、あまり多くの時間はない。事前に旅行行程に組み込んで頂けるような広告・取組が必要。
- 糸満市の位置を含め「知っている」とする観光客は約4割程度であり、約5割が「名前は聞いたことがある」と回答。糸満市に訪れた事がないと回答した観光客のうち、今後糸満市へ行ってみたいと思った事が「ある」と答えた回答者は約6割弱。
- 糸満市のイメージは、「戦争、ひめゆり、平和」など、戦跡に関する意見が多い。
- 観光客の多くが「景勝地」や「地域文化イベント」に大きな魅力を感じている。
- 「①海人糸満！海人工房資料館見学&日本最南端の駅魅力散策」については回答件数では全体で最下位であるものの、その優先度内訳を見ると1番目に興味を持ったプログラムとする回答割合が多いことから、観光資源としてのポテンシャルがうかがえる。
- 10～40代に人気があったのは「②本島最南端の景色を満喫」、「①海人糸満！」については比較的高齢者の方々に人気があり、「⑥旧暦文化のまち糸満を楽しむ」では50代からの人気が高い。
- 「③米須集落を満喫」では女性からの人気が高く、「④世界遺産になりたいな」では男性からの人気が高い傾向にあった。
- 各観光プログラム素案に対する支払意志額（支払っても良いとする金額）は全体では3,000円が185件と最も多い結果となった。観光プログラム別集計では「③米須集落を満喫」や「⑥旧暦文化のまち糸満を楽しむ」に対する支払意志額が高く、最も人気の高かった「②本島最南端の景色を満喫」では支払意志額が低い傾向にある事が明らかになった。
- 各観光プログラム素案に対する参加時間（所要時間）については、全体集計では「ちょうどいい」時間であるとする意見が229件と多いものの、約4割に相当する160件が「長い（所要時間が長すぎる）」との回答であった。今後見直しに向けて取り組む必要があると考えられる。
- 各観光プログラム素案に対して、一緒に旅行（参加）してみたい人について聞いたところ全体では「友人・知人と」と回答する観光客が142件と最も多い結果となった。
- 体験がしたいという観光客が多い。また、まずは北上し最後に南部を観光することが多いので、もっと南部の魅力をアピールしてほしいとの意見もあった。

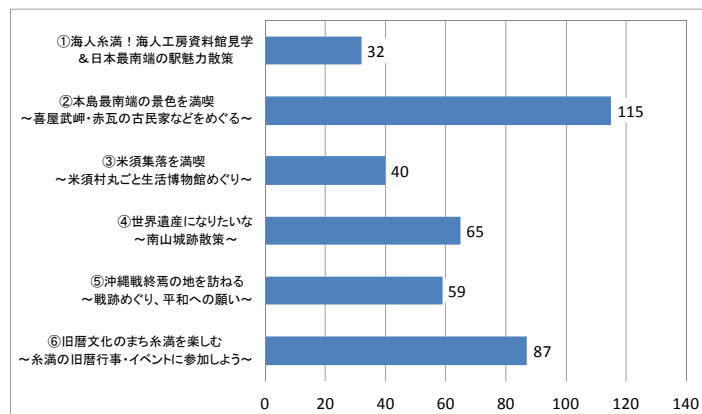


図5 興味をもった、参加してみたい観光プログラム

2-3 観光プログラム企画の作成

観光客ニーズ調査結果及び委員会・幹事会の意見を踏まえ、所要時間、出発時間、料金、予約期限等を検討し、さらに、関連施設との連携結果を反映させるなど、プログラム企画素案の見直しを行い、観光プログラム企画を12本作成した。

1 海人系満！海人工房資料館見学 & 日本最南端の駅魅力散策

初心者
家族
学生

世界に誇る糸満漁業の伝統文化を次世代に継承する事を目的とした「糸満海人工房資料館」見学、隣接の最南端の駅「道の駅いとまん・お魚センター」にて、糸満市の特産品、魚介類を見学！！海人系満を楽しむコースです。

- 参加料金：500円（海人工房資料館入場料）
- 出発地点：直行バス停 道の駅いとまん
- 出発時間：10時、12時、14時、16時※
※16時の出発は夏季期間限定
- 所要時間：約2時間（徒歩移動込）
- 順 路：道の駅いとまんバス停→海人工房(30分)→
お魚センター・糸満物産センター(60分)→
道の駅いとまんバス停
- 予約期限：出発時間2時間前までの予約
※ただし、10時発便に限り、前日17時までの予約



～特典～
道の駅いとまん：最南端証明書
糸満海人工房資料館：サンゴのかけら
※その他、実証実験への協力店から特典を受けることができます。

2 見て！触れて！体験しよう！ ～琉球ガラスと漆喰シーサーと泡盛～

家族
女子友
学生

琉球ガラス工場の職人技を見学した後、たくさんの種類から選べる琉球ガラスのトップを組み合わせた琉球ガラスアクセサリー作りにチャレンジ！そして！漆喰シーサー工房にてシーサー色付け体験！さらに！！泡盛工場「比嘉酒造」を見学します。

- 参加料金：3,700円程度（シーサー色付け体験料、アクセサリー作り体験料、地域観光バス料金）
- 出発地点：直行バス停 道の駅いとまん
- 出発時間：10時、14時
- 所要時間：約3.5時間（徒歩・地域観光バス移動込）
- 順 路：道の駅いとまんバス停→比嘉酒造(55分)→
漆喰シーサー工房ニヤ山(50分)→
琉球ガラス村(45分)→道の駅いとまんバス停
- 予約期限：前日17時までの予約



～特典～
琉球ガラス村：箸置きプレゼント
比嘉酒造：泡盛ミニボトル
※その他、実証実験への協力店から特典を受けることができます。

3 糸満グルメ満喫♪ ～糸満公設市場散策と海ブドウ収穫体験&ちんぴん作り～

初心者
家族
学生

グルメも豊富な糸満市！公設市場で糸満のグルメを楽しめます。中でも糸満発祥のかまぼこは絶品！！サザンビーチホテル&リゾートにて沖縄の伝統的な菓子「ちんぴん」作りが体験できます。さらに海ブドウの収穫体験まで！沖縄の食文化を学んで、美味しく食しましょう。

- 参加料金：3,000円程度（ちんぴん作り体験料、海ぶどう収穫体験料、地域観光バス料金）
- 出発地点：直行バス停 サザンビーチホテル
- 出発時間：10時、14時
- 所要時間：約3.5時間（地域観光バス移動込）
- 順 路：サザンビーチホテルバス停→
サザンビーチホテル&リゾート(60分)→
糸満公設市場(60分)→海ブドウの収穫体験(50分)→
サザンビーチホテルバス停
- 予約期限：前日17時までの予約



～特典～
サザンビーチホテル&リゾート：ポストカード
海ぶどう：全商品10%引き
※その他、実証実験への協力店から特典を受けることができます。

4 本島最南端の景色を満喫♪ ～喜屋武岬・赤瓦の古民家を訪ねる～

夫婦
カップル
女子友

沖縄本島最南端の糸満市！国登録記念物になっている喜屋武海岸および荒崎海岸の眺望や青々とした大海原を眺めることができる喜屋武岬を訪れた後は、登録文化財でもある赤瓦の古民家で、昔の沖縄を感じながらの食事をします♪

- 参加料金：1,000円程度（地域観光バス料金）
- 出発地点：直行バス停 琉球ガラス村
- 出発時間：11時
- 所要時間：約3.5時間（地域観光バス移動込）
- 順 路：琉球ガラス村バス停→喜屋武岬(40分)→
真屋茶屋(60分)→琉球ガラス村(50分)
- 予約期限：出発時間2時間前までの予約
※ただし、10時発便に限り、前日17時までの予約



～特典～
※その他、実証実験への協力店から特典を受けることができます。

5 戦後70周年記念プログラム～ 沖縄戦終焉の地を訪ねる ～世界の恒久平和への願いをこめて～

夫婦
学生

沖縄戦終焉の地として「世界の恒久平和を祈願し、発信する場所」糸満市にて平和の礎、平和祈念堂、平和祈念資料館などを通じて、世界の恒久平和を願います。また、第二次世界大戦で亡くなったすべての戦没者の慰霊の為「フツヤかりの聖なる菩提樹」の分け樹が贈呈された「沖縄菩提樹苑」を見学します。

- 参加料金：1,750円程度（平和祈念資料館観覧料、平和祈念堂参観料、地域観光バス料金）
- 出発地点：直行バス停 平和祈念堂入口
- 出発時間：10時、14時
- 所要時間：約3.5時間（徒歩・地域観光バス移動込）
- 順 路：平和祈念堂入口バス停→
平和祈念公園(120分)→沖縄菩提樹苑(50分)→
平和祈念堂入口バス停
- 予約期限：出発時間2時間前までの予約
※ただし、10時発便に限り、前日17時までの予約



～特典～
※その他、実証実験への協力店から特典を受けることができます。

6 米須集落ゆったり散策 ～米須村丸ごと生活博物館めぐり～

夫婦・
女子友

糸満市南部にある米須集落を満喫出来るコースです。集落散策4コースや地域の食材を使った料理教室体験などから気になるメニューを選べます。米須に生き、米須を愛するシマンチュがおもてなしの心で皆様をお出迎えします。

- 参加料金：①集落散策 ②地域料理体験：1,000円
③散策1コース・昼食：2,000円
- 出発地点：直行バス停 米須
- 出発時間：①集落散策 ③散策1コース・昼食：10時
②料理教室：11時30分
- 所要時間：①集落散策(90分)
②地域料理教室体験(90分)
③散策1コース・料理教室(150分)
- コース：①集落散策1コース：90分（散策コース4つから選択）
②地域料理教室体験：90分
③散策1コース・昼食：150分
- 予約期限：①は前日17時までの予約
②、③は出発の3日前17時までの予約



～特典～
※その他、実証実験への協力店から特典を受けることができます。

7 世界遺産になりたいな ～南山城跡散策(歴史に触れる旅)～

夫婦
学生

糸満市大里にある南山城跡を散策。南山城跡は、三山時代に栄えた南山王の居住跡で、城壁と遺構の一部を残しています。「沖縄名木百選」に選ばれたガジュマル群生も見どころです。また、南山城跡のある大里は東に与座岳、西に南山城跡を望む位置にあり、「おもろさうし」に「おおさととはさとかからるかてしかわみつからる」といわれ、長い歴史があり、豊富な水と自然に囲まれた、うるわしいしま(集落)です。

- 参加料金：1,000円程度(地域観光バス料金)
- 出発地点：直行バス停 道の駅いとまん
- 出発時間：10時、13時、16時※※16時の出発は夏季期間限定
- 所要時間：約2.5時間(徒歩・地域観光バス移動込)
- 順路：道の駅いとまんバス停→散策(和名寺→南山城跡→裏手跡)100分→道の駅いとまんバス停
- 予約期限：出発時間2時間前までの予約※ただし、10時発便に限り、前日17時までの予約



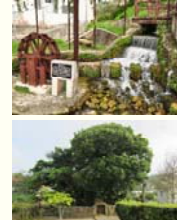
～特典～
※糸証実証への協力店から特典を受けることができます。

8 癒しのスポット 「与座ガー」湧き水紀行

夫婦

癒しのスポット「与座ガー」でマイナスイオンを浴びよう♪首里王朝時代に作られた井泉「与座ガー」は水量が豊かで、その水は公園のプールにも引かれ、地域の子どもの遊び場にもなっています。また、昔使われていた製糖用の水車の模様がおりてあります。世代を超え、地域に受け継がれる水の癒しスポットとその周りにある御嶽を散策します。

- 参加料金：1,000円程度(地域観光バス料金)
- 出発地点：直行バス停 道の駅いとまん
- 出発時間：10時、13時、16時※※16時の出発は夏季期間限定
- 所要時間：約2.5時間(徒歩・地域観光バス移動込)
- 順路：道の駅いとまんバス停→与座の御嶽クバ前庭→与座ガー→道の駅いとまんバス停
- 予約期限：出発時間2時間前までの予約※ただし、10時発便に限り、前日17時までの予約



～特典～
※糸証実証への協力店から特典を受けることができます。

9 南国フルーツ収穫体験 & ジャム作り体験

家族
夫婦
女子友

南国フルーツ満喫コース。パッションフルーツ等を収穫体験♪また、糸満市特産のにんじんを使ってジャム作り体験♪

- 参加料金：1,500円程度(収穫体験料)
3,000円程度(収穫体験料、ジャム作り体験料)
- 出発地点：直行バス停 糸満観光農園
- 出発時間：10時
- 所要時間：約3時間(徒歩・地域観光バス移動込)
- 順路：糸満観光農園バス停→収穫体験・ジャム作り体験(180分)→糸満観光農園バス停
- 予約期限：出発の3日前17時までの予約



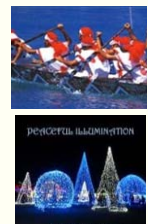
～特典～
※糸証実証への協力店から特典を受けることができます。

10 旧暦文化のまち糸満にふれる ～糸満の旧暦行事・イベントを楽しむ～

家族
夫婦
女子友

沖縄のなかでも独特の時間が流れている糸満。旧正月、糸満ハーレー、糸満大綱引など旧暦文化を大切にしています。また、エイサー祭り、爬龍舟フェスティバル、イルミネーションなど、1年を通して季節ごとの楽しいイベントがあります。ぜひ、この機会に旧暦文化のまち糸満にふれてみませんか。

- 参加料金：各イベントに合わせて料金を表示
- 出発地点：各イベント会場の最寄りの直行バス停
- 出発時間：各イベントの開催時間により変わります。
- 所要時間：約3時間(徒歩・地域観光バス移動込)
- 順路：糸満ハーレー、大綱引き、イルミネーションなど各行事・イベントに参加
- 予約期限：出発時間2時間前までの予約



※イベントが開催されている時期のみ催行。

～特典～
※糸証実証への協力店から特典を受けることができます。

11 沖縄そば手作り体験

家族
学生
女子友

今や全国に知られるようになった沖縄そば。その歴史は約500年と古く琉球王朝時代にまでさかのぼります。うどんでも蕎麦でも、ラーメンでもない沖縄そば！ぜひこの機会にあなただけオリジナルの沖縄そばを作ってみませんか。

- 参加料金：2,200円程度(そば体験料、地域観光バス料金)
- 出発地点：直行バス停 道の駅いとまん
- 出発時間：10時(毎週火・木・土)
- 所要時間：約3.5時間(地域観光バス移動込)
- 順路：道の駅いとまん→サンサンキッチン(180分)→道の駅いとまん
- 予約期限：前日17時までの予約※施設見学ご希望の方は3日前の17時まで



～特典～
施設見学された方にそばお菓子プレゼント
※その他、糸証実証への協力店から特典を受けることができます。

12 糸満の海でマリン体験♪ ～バナナボート&体験シュノーケリング～

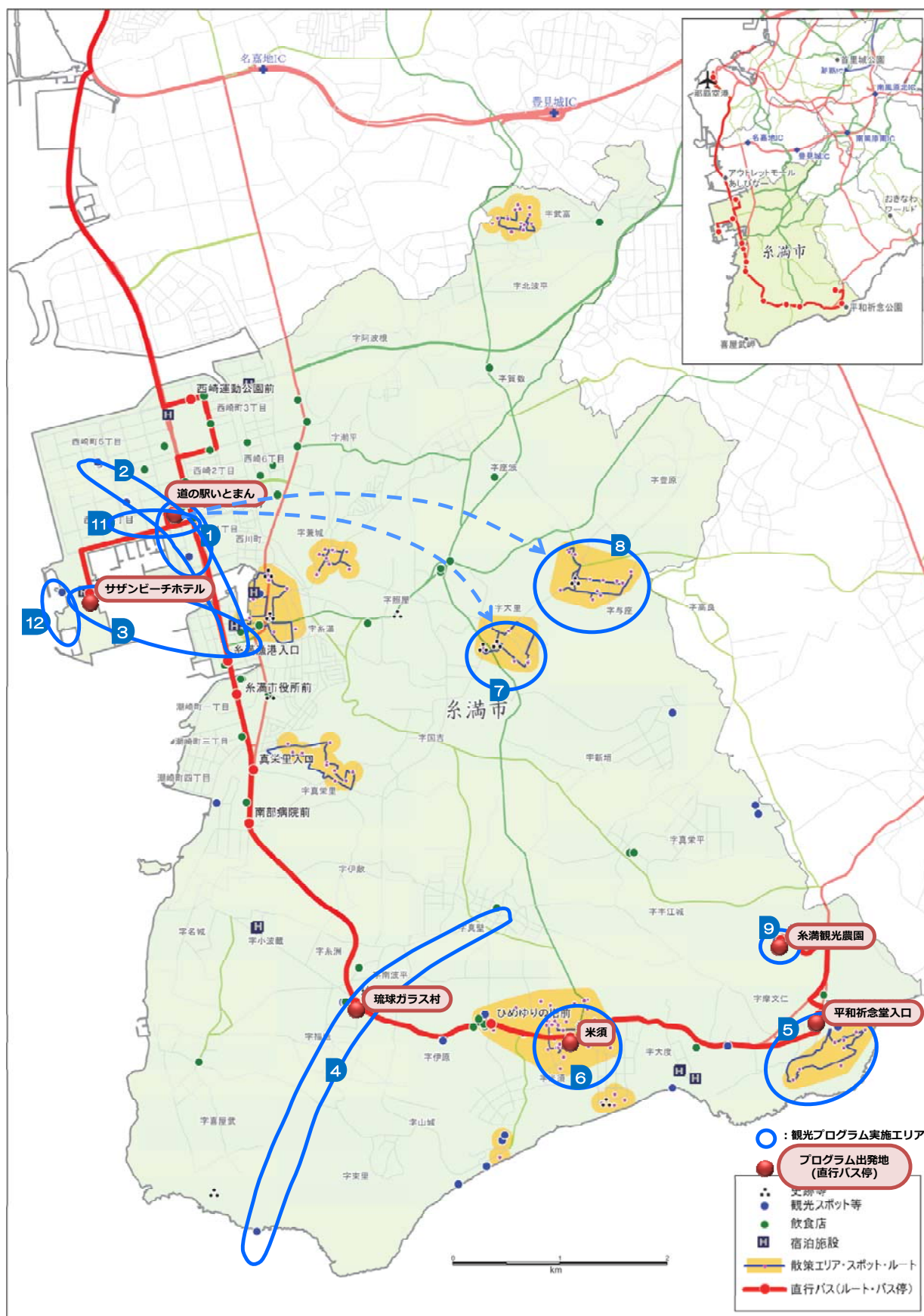
家族
学生
女子友

美々ビーチ沖のポイントまでバナナボートで行くシュノーケリングツアーです！シュノーケリングポイントには色とりどりのお魚がいっぱい！シュノーケリング講習をしますので初心者・お子様でも安心！餌付けも出来るのでお魚を近くで観察できます。器材のレンタル付きなので気軽に参加OKです！

- 参加料金：4,000円程度(マリン体験料)
※マリン体験料は4月改定予定のため昨年度料金で計上
- 出発地点：美々ビーチいとまん(農園バス停 サザンビーチホテル)
- 出発時間：4～6月・9～10月 11時 13時 15時 7～8月 10時30分 12時30分 14時30分
- 所要時間：約1.5時間(サザンビーチホテルからの徒歩込)
- 順路：サザンビーチホテル→美々ビーチいとまん→サザンビーチホテル
- 予約期限：出発時間2時間前までの予約



～特典～
いちまりんにてマリン体験10%割引
※糸証実証への協力店から特典を受けることができます。



3.観光ガイドの養成

3-1「地域ガイド」及び「車内ガイド」養成講座受講生の募集

ガイド養成講座の受講生については、糸満市を中心とした観光ガイド友の会や糸満市観光協会、ガイド関連 NPO、ガイド養成機関等を対象に募集を行った。募集の結果、42 名の受講者を確保した。その 42 名のうち 40 名が何らかのガイド団体に所属する現役ガイドであり、そのうち糸満市在住者もしくは糸満市に関連した団体に所属する受講生は 17 名となった。また、男女比は、男性 21 名、女性 21 名となった。下表に受講者の概要を示す。

【団体別人数】

団 体 名	人 数
糸満市観光協会登録ガイド	7 名
糸満市観光市民ガイド友の会	5 名
糸満の旧暦文化に親しむ会	1 名
とよみ史跡友の会	2 名
南風原町平和ガイド	1 名
八重瀬町ガイドの会	6 名
那覇市街角ガイド	7 名
那覇まちまーい	4 名
琉球歴史ロマンの会	1 名
現役フリーバスガイド	4 名
県立博物館ガイド	1 名
沖縄インターナショナルガイドアソシエーション	1 名
ガイド未経験者	2 名
計	42 名

※複数の団体に所属している受講者も多いが代表的な団体を記載した。

【男女別人数】

性 別	人 数
男性	21 名
女性	21 名
計	42 名

3-2 ガイド養成講座プログラムの作成

(1) 地域ガイドプログラムの作成

「地域ガイド」プログラムは、1 期 5 日間とし、(一社) 糸満市観光協会及び OCVB ((一財) 沖縄観光コンベンションビューロー) と連携しながらガイドとしての接遇のあり方、沖縄観光について、糸満市の概要、プログラム関連施設の概要などガイドに必要な項目について座学及び FW (フィールドワーク) を組み合わせた。1 日当たり 4 時間程度とし、受講者数を考慮し 2 期設定した。

■地域ガイド養成講座プログラム(第一期)

	日 付	会 場	プログラム	講 師
1 日 目	2月20日(金)			
	(午前)10:00~12:00	糸満市中央図書館	座学(接遇)	宮(OCVB)
	(午後)13:00~15:00		座学(観光)	照屋(OCVB)
2 日 目	2月24日(火)			
	(午前)10:00~12:00	糸満市中央図書館	糸満市概要	金城善
			旧暦文化	〃
	(午後)13:00~14:00	NPO法人ハマスーキ	海人工房資料館見学	上原謙
	(午後)14:00~15:00	まさひろ酒造株式会社	比嘉酒造施設見学	比嘉酒造スタッフ
3 日 目	2月27日(金)			
	(午前)10:00~11:00	米須公民館	喜屋武について(座学)	糸満市観光協会
	(午前)11:00~12:00	〃	米須について(座学)	太田守
	(午後)13:00~14:00	米須集落	米須について(F・W)	〃
	(午後)14:00~15:00	喜屋武岬	喜屋武について(F・W)	糸満市観光協会
4 日 目	3月3日(火)			
	(午前)10:00~11:00	糸満市農村環境改善センター	与座について(座学)	糸満市観光協会
	(午前)11:00~12:00	〃	大里について(座学)	〃
	(午後)13:00~14:00	与座集落	与座について(F・W)	糸満市観光ガイド
	(午後)14:00~15:00	大里集落	大里について(F・W)	〃
5 日 目	3月7日(土)			
	(午前)10:00~11:00	平和祈念資料館会議室	沖縄戦について(座学)	糸満市観光ガイド
	(午前)11:00~12:00	平和祈念公園	平和祈念公園について(F・W)	〃
	(午後)13:00~14:00	糸満市観光農園	観光農園見学(F・W)	観光農園スタッフ
	(午後)14:00~15:00	琉球ガラス村	琉球ガラス村施設見学	琉球ガラス村スタッフ

■地域ガイド養成講座プログラム(第二期)

	日 付	会 場	プログラム	講 師
1 日 目	3月13日(金)			
	(午前)10:00~12:00	糸満市農村環境改善センター	座学(接遇)	宮(OCVB)
	(午後)13:00~15:00		座学(観光)	照屋(OCVB)
2 日 目	3月21日(土)			
	(午前)10:00~11:00	米須公民館	喜屋武について(座学)	糸満市観光協会
	(午前)11:00~12:00	〃	米須について(座学)	太田守
	(午後)13:00~14:00	米須集落	米須について(F・W)	〃
	(午後)14:00~15:00	喜屋武岬	喜屋武について(F・W)	糸満市観光協会
3 日 目	3月24日(火)			
	(午前)10:00~11:00	糸満市農村環境改善センター	与座について(座学)	糸満市観光協会
	(午前)11:00~12:00	〃	大里について(座学)	〃
	(午後)13:00~14:00	与座集落	与座について(F・W)	糸満市観光ガイド
	(午後)14:00~15:00	大里集落	大里について(F・W)	〃
4 日 目	3月26日(木)			
	(午前)10:00~12:00	糸満市農村環境改善センター	糸満市概要	金城善
			旧暦文化	〃
	(午後)13:00~14:00	NPO法人ハマスーキ	海人工房資料館見学	上原謙
	(午後)14:00~15:00	まさひろ酒造株式会社	比嘉酒造施設見学	比嘉酒造スタッフ
5 日 目	3月28日(土)			
	(午前)10:00~11:00	平和祈念資料館会議室	沖縄戦について(座学)	糸満市観光ガイド
	(午前)11:00~12:00	平和祈念公園	平和祈念公園について(F・W)	〃
	(午後)13:00~14:00	糸満市観光農園	観光農園見学(F・W)	観光農園スタッフ
	(午後)14:00~15:00	琉球ガラス村	琉球ガラス村施設見学	琉球ガラス村スタッフ

(2) 車内ガイドプログラムの作成

「車内ガイド」プログラムは、1期5日間とし、(株)琉球バス交通と連携しながら糸満市～那覇空港直行バスについて、路線バスについて、ガイドの心構え、糸満市の概要や運行ルート、バス停等の確認などガイドに必要な項目について座学及び実車による研修を組み合わせた。1日当たり4時間程度とし、受講者数を考慮し2期設定した。

■直行バス車内ガイド養成講座プログラム(第1期)

回	月 日 (曜日)	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
1 日 目	2/12 (木)	1.糸満市直行バスについて 【講座内容(テキスト内容)】 ・本事業の背景と目的について ・基本理念、基本目標、基本方針について ・路線バスについて ・運賃(サービス)について 講師:琉球バス社員 会場:糸満市役所3-b会議室				なし	
2 日 目	2/13 (金)	2.ガイドの心構えについて 【講座内容(テキスト内容)】 ・基本的なガイドの心構えについて ・接客について ・話し方から発声のしかた ・バス停の位置や周辺情報について ・糸満市直行バスに関する観光資源について 講師:琉球バス社員 会場:スポーツロッジ糸満				なし	
3 日 目	2/14 (土)	なし	3. 観光案内 【講座内容(テキスト内容)】 ・平和学習 ・観光物産 ・案内の具体例 講師:琉球バス社員 会場:スポーツロッジ糸満				
4 日 目	2/16 (月)	4. バスに乗車しての講習 【講座内容(テキスト内容)】 ・運行ルート・バス停等の確認 ・バス車内での注意事項等 講師:琉球バス社員 会場:糸満市役所3-e会議室 (旧下水道課)				なし	
5 日 目	2/17 (火)	5. まとめ 【講座内容(テキスト内容)】 ・車内ガイドとしての業務確認 講師:琉球バス社員 会場:スポーツロッジ糸満				なし	

■直行バス車内ガイド養成講座プログラム(第2期)

回	月 日 (曜日)	13:00	14:00	15:00	16:00
1 日 目	3/12 (木)	1.糸満市直行バスについて 【講座内容(テキスト内容)】 ・本事業の背景と目的について ・基本理念、基本目標、基本方針について ・路線バスについて ・運賃(サービス)について			
2 日 目	3/14 (土)	2.ガイドの心構えについて 【講座内容(テキスト内容)】 ・基本的なガイドの心構えについて ・接客について ・話し方から発声のしかた ・バス停の位置や周辺情報について ・糸満市直行バスに関する観光資源について			
3 日 目	3/16 (月)	3. 観光案内 【講座内容(テキスト内容)】 ・平和学習 ・観光物産 ・案内の具体例			
4 日 目	3/17 (火)	4. バスに乗車しての講習 【講座内容(テキスト内容)】 ・運行ルート・バス停等の確認 ・バス車内での注意事項等			
5 日 目	3/18 (水)	5. まとめ 【講座内容(テキスト内容)】 ・車内ガイドとしての業務確認			

3-4 ガイド養成講座の開催

各ガイド養成講座プログラムに基づき開催した結果を下表に示す。

(1) 地域ガイド養成講座の開催

■第1期養成講座

第1期 「地域ガイド」養成講座日程				
回	月 日	時 間	開催場所	受講者数
1日目	2月20日(金)	10:00～15:00	糸満市中央図書館 2階会議室	18名
2日目	2月24日(火)	10:00～15:00	糸満市中央図書館 2階会議室 他	18名
3日目	2月27日(金)	10:00～15:00	米須公民館 他	21名
4日目	3月3日(火)	10:00～15:00	糸満市農村環境改善センター 他	19名
5日目	3月7日(土)	10:00～15:00	平和祈念資料館会議室 他	17名



■第2期養成講座

第2期 「地域ガイド」養成講座日程				
回	月 日	時 間	開催場所	受講者数
1日目	3月13日(金)	10:00～15:00	糸満市農村環境改善センター	13名
2日目	3月21日(土)	10:00～15:00	米須公民館 他	15名
3日目	3月24日(火)	10:00～15:00	糸満市農村環境改善センター 他	14名
4日目	3月26日(木)	10:00～15:00	糸満市農村環境改善センター 他	16名
5日目	3月28日(土)	10:00～15:00	平和祈念資料館会議室 他	16名



(2) 車内ガイド養成講座開催

■第1期養成講座

第1期 「車内ガイド」養成講座日程				
回	年 月 日	時 間	開催場所	受講者数
1日目	2月12日(木)	13:00～17:00	糸満市役所3-b会議室	21名
2日目	2月13日(金)	13:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	22名
3日目	2月14日(土)	14:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	26名
4日目	2月16日(月)	13:00～17:00	糸満市役所3-e 会議室	21名
5日目	2月17日(火)	13:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	20名



■第2期養成講座

第2期 「車内ガイド」養成講座日程				
回	年 月 日	時 間	開催場所	受講者数
1日目	3月12日(木)	13:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	16名
2日目	3月14日(土)	13:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	16名
3日目	3月16日(月)	13:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	13名
4日目	3月17日(火)	13:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	17名
5日目	3月18日(水)	13:00～17:00	スポーツロッジ糸満 2F 研修室	15名



3-5 養成講座における主な質疑内容

両ガイド養成講座 20 日間を通した主な質疑内容を以下に示す。

質問 1: バス運賃の收受や各種割引等も含めて直行バス車内での責任者・決定者は誰か。

回答 1: 乗務員(運転手)が全責任者であり、全ての判断・決定を行う。

質問 2: わかりやすい運賃表を配布してほしい。

回答 2: 運賃が最終的に決定次第配布したい。

質問 3: 外国人が乗車してきた場合の対応について。

回答 3: 運賃表、運賃箱、バス停表示など可能な限り多言語化し外国人にも分かりやすくする工夫をしたい。併せて、即時外国語翻訳が可能となるタブレット端末も装備する。

質問 4: 乗客が整理券を紛失した場合の対応について。

回答 4: 規則上、始発からの運賃を支払ってもらうこととなる。対応は乗務員が行う。

質問 5: 直行バスの料金箱は両替式かおつり式か

回答 5: 両替式の後払い方式となる。但し、1,000 円以上は両替不可。

質問 6: 実証実験中、ガイドは立って行うのか座って行うのか。

回答 6: 安全上から座ったままで行って頂きたい。(観光バスのような背もたれがないため)

質問 7: ガイドの座る場所はどこか。

回答 7: 基本的には、運転席の真後ろとなる。

質問 8: 服装の決まりはあるか。

回答 8: ユニフォームを支給する予定。

質問 9: 直行バスのバス停を増やしてはどうか。

回答 9: 実験中は増やさない。デマンドバスで補う。

質問 10: どのような PR を考えているのか。

回答 10: ガイドブック、HP、市広報、県外観光雑誌、メルマガ、横断幕、懸垂幕等

質問 11: 採算は取れるのか。

回答 11: 想定している人数が直行バスを利用すれば、採算は取れる。

質問 12: デマンドバスでのガイドも必要か。

回答 12: 必要ない。

質問 13: デマンドバスは乗車券や回数券、割引券などあるか。

回答 13: ない。現金のみとなる。

質問 14: 車内ガイドは乗客へのサービスはどこまですれば良いか。

回答 14: TPO で対応して頂きたい。但し、あくまでもいとちゃんバスは路線バスであるということを念頭においたサービスを提供する必要がある。

質問 15: ○○線のような正式な路線名は。

回答 15: 未定。今後決定する。

質問 16: 乗客の手荷物はどうなるか。

回答 16: 通常の路線バスと同じ扱いとなる。観光バスのような専用トランクはない。

質問 17: 直行バスのバス停から主要施設までの時間を示した方が良い。

回答 17: 検討する。

質問 18: 車内ガイドにも乗客対応として、体験プログラムの内容を実際に現地で見せてもらいたい。

回答 18: 車内ガイドのほとんどが、地域ガイド養成講座を受講する事となっている。

質問 19: バス停以外の場所で乗客が手を上げたらどうするか。

回答 19: 通常の路線バス扱いで、基本的にはバス停以外の場所では乗車させない。

質問 20: 観光農園は何もない。終点として降ろす場所ではないのでは。

回答 20: 9月にグランドオープン予定。その際は、情報提供を行う。

質問 20: NAHA マラソン時や道路が通行できない場合のルートはどうなるか。

回答 20: 迂回ルートを設定するか欠航する。その際、一週間前にはお知らせする。

3-6 修了証の交付

全 42 名の養成講座受講者のうち、車内ガイド及び地域観光ガイド両方の養成講座を受講した者が 31 名、地域ガイド養成講座のみ受講した者が 3 名、車内ガイド養成講座のみ受講した者が 8 名となった。そのうち、両方の養成講座を受講した 1 名については、自ら辞退を申し出たことから合計 41 名に対し、各養成講座の受講修了を証する「修了証」を交付した。

【受講修了内訳】

ガイド区分	人数
両ガイド受講修了者(地域ガイド・車内ガイド)	30 名
地域ガイドのみ受講修了者	3 名
車内ガイドのみ受講修了者	8 名
合計	41 名

4 関連施設との連携

本事業で連携すべき市内周辺関連施設を抽出した上で、各施設が利用者を受け入れるにあたっての条件やニーズ及び利用者に付与する割引サービス等の特典さらにはその他利用者が受けることのできるサービス等について協議・調整を行った。

4-1 対象とする周辺観光施設の抽出

協議・調整を実施する施設については、以下の条件に合致する施設を抽出した。

- ◇ 観光協会に加盟する主要施設、宿泊施設、飲食店施設
- ◇ 直行バス沿線及び三和地区に立地する施設

その結果、「主要施設」16 施設、「宿泊施設」9 施設、「飲食店」30 施設、合計 55 施設を抽出し、それら施設に対しヒアリングにより協議・調整を行なった。

4-2 意向調査票

上記 4-1 で抽出した施設に対し、以下の説明資料及び「周辺関連施設意向調査票」に基づき直接訪問によるヒアリング形式で周辺関連施設の考え方を伺った。また、各施設が利用者を受け入れるにあたっての条件や要望、本事業に対する意見・要望、さらには利用者に付与する特典等について調査を実施した。なお、施設規模等に応じ適切な設問を選択し調査することとした。

4-3 意向調査結果

（１）主要施設

- ・ 調査対象 16 施設のうち割引サービス等に協力して頂ける施設は 10 施設（63%）
- ・ 協力可能な 10 施設のうち「料金割引サービス」が可能な施設は 3 施設。残り 7 施設は、施設オリジナルの粗品等の提供が可能としている。

（２）宿泊施設

- ・ 調査対象 9 施設のうち割引サービス等に協力して頂ける施設は 5 施設（56%）
- ・ 協力可能な 5 施設のうち「料金割引サービス」が可能な施設は 1 施設。残り 4 施設は、施設オリジナルの粗品等の提供が可能としている。

（３）飲食店

- ・ 調査対象 30 施設のうち割引サービス等に協力して頂ける施設は 18 施設（60%）
- ・ 協力可能な 18 施設のうち「料金割引サービス」が可能な施設は 8 施設。残り 10 施設は、施設オリジナルの粗品などの提供が可能としている。

5 プロモーション活動等

平成 27 年度実証実験実施に向けて、より多くの方に知って頂き乗車頂くために、「直行バスの愛称及びデザインの募集」「ポスター・リーフレットのデザイン及び作成・印刷」「ウェブサイト等の作製」「Wi-fi（無線 LAN）の構築」「営業宣伝活動」「先進地視察」を実施した。

5-1 愛称及び車両デザインの募集

（1）直行バスの愛称の募集活動

糸満市では、公共交通利用を希望する観光客や市民のニーズに応え「暮らす人、訪れる人ともに利用しやすい公共交通」として平成 27 年 5 月から糸満市と那覇空港を結ぶ直行バスの実証実験が始まるにあたり、このバスの愛称（ネーミング）を広く募集するものである。「みどり・ひかり・いのりのまち いとまん」をイメージし、糸満市観光のイメージアップにつながる呼びやすく親しみやすい内容での募集とした。

①募集活動概要

- ・ 募集期間：平成 26 年 11 月 10 日（月）～11 月 21 日（金）
- ・ 応募用紙配付先：市内小中学校・高校（8,090 枚）、市内主要施設（130 枚）、市内新聞購読者（2 紙）への折込（11,780 枚）
- ・ 専用 WEB サイトの作製：応募用紙のダウンロード及び応募が可能
- ・ 市広報紙への掲載：2014 年 11 月号 P18 に掲載
- ・ 応募用紙の作成：A4 版、カラー、両面、20,000 部

②募集結果

応募枚数は 758 枚、応募総人数は 658 人、応募総件数は 1,535 件であった。応募内訳をみると、施設や学校は市内からの応募が多く市民の関心の高さが伺える。県内他市町村からの応募については、チラシ配布地域は市内だけであったにも関わらず 1 割程度の応募があった。ウェブでの応募は、県外が多く、北は北海道からも応募があり、ウェブならではの広がり方が見える。

表 1 募集活動結果

	応募枚数（枚）	応募人数（人）	応募件数（件）
施設	342 枚	290 人	798 件
学校	208 枚	208 人	307 件
WEB	208 枚	160 人	430 件
合計	758 枚	658 人	1,535 件

表 2 糸満市内・市外・県外からの応募人数（人）

	糸満市内（人）	市外（県外）（人）	県外（人）	不明（人）
施設	227	48	19	4
学校	208	0	0	0
WEB	53	12	92	9
合計	458	60	111	13

③愛称決定

11 月 28 日（金）に開催した第 2 回糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験検討幹事会で検討の結果、第 1 位候補案「いとちゃんバス」第 2 位候補案「エイトマン号」、第 3 位候補案「ピースライン」となり、直行バスの愛称は「いとちゃんバス」に決定した。

	愛称候補案	1回目	2回目	3回目
	潮風号	1	2	2
	いとぽっぽ	1	1	
	ピースエクスプレス			
	うみんちゅバス			
1位	いとちゃんバス	5		
3位	ピースライン	1	2	6
	糸満バス			
	和海(なごみ)ちゃん			
2位	エイトマン号	1	3	

【決定】糸満市～那覇空港直行バスの愛称

いとちゃんバス

※参考：市内周遊デマンドバスの愛称は「いとちゃん mini」に決定した。

また、平成 27 年 1 月 7 日（水）に糸満市役所で「糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備「ネーミング表彰式」」を開催し、入賞者に賞金や糸満市特産品などの副賞を贈った。

（２）車両デザインの募集活動

糸満市では、公共交通利用を希望する観光客や市民のニーズに応え「暮らす人、訪れる人ともに利用しやすい公共交通」として平成 27 年 5 月から糸満市と那覇空港を結ぶ直行バスの実証実験が始まるにあたり、「いとちゃんバス」をイメージし、糸満市観光のイメージアップにつながるデザインを募集した。

①募集概要

- ・ 募集期間：平成 27 年 1 月 5 日（月）～1 月 31 日（土）
- ・ 応募用紙配付先：県内芸術大学・高校（デザイン系）、デザイン系専門学校（5,000 枚）、市内主要施設（2,000 枚）、その他（3,000 枚）
- ・ 専用ウェブサイトの作製：応募用紙のダウンロード及び応募が可能
- ・ 新聞副読紙への掲載：レキオ・ほーむぷらざ、2015 年 1 月 15 日に掲載
- ・ 応募用紙の作成：A4 版、カラー、両面、10,000 部

②募集結果

糸満市～那覇空港直行バス「いとちゃんバス」のデザイン募集活動を実施した結果、応募件数は 77 件あった。そのうち、学生からの応募が 50 件、市外からの応募が 67 件（全て県内）、市内からの応募が 10 件あった。

③いとちゃんバスデザイン決定

糸満市役所にて 2 月 10 日～18 日にかけてデザインを選考し、次項図 7 のデザインに決定した。

いとちゃんバス・デザイン応募用紙⁷²

※必要事項をご記入の上、下記まで郵送願います。※応募用紙はホームページからもダウンロードできます。
※バス車体サイズにより、図柄の変更などの調整が生じる場合がございます。



車両左側面(右側は反転デザインになります)



車両後部面

「2頭身バージョンいとちゃん」を使って
デザインしてね!
「いとちゃんキャラクター」は下記ホームページより
ダウンロードしてください。



2頭身バージョンいとちゃん

図7 採用された「いとちゃんバス」デザイン画(スキャン)

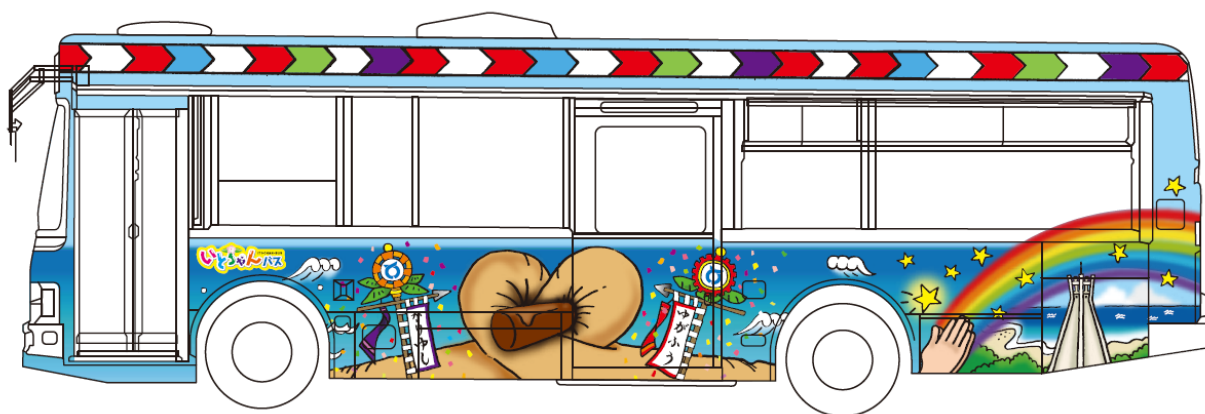
採用されたデザインは手書きであったため、採用者とデザイナーとで調整を行い、ラッピングのためのデザインのデータ化を行った。なお、県・那覇市へいとちゃんバスデザインについて情報提供をした。

■デザインに調整が入った内容

- デザイナーとの調整で、車両下部にあるハーレーのエークデザインを外した。
- 今回は糸満市の実証実験事業によりラッピングされたバスを運行することから、沖縄県広告物条例及び那覇市広告物条例の制限対象か確認したところ適用除外であった。ただし、車両上部にあるハーレーのエークをイメージして作成されたデザインは、その配色により信号と見間違ふ恐れがあるとの県の意見を配慮して、バス後部のデザインは採用者了解のもと、外した。
- 乗降ドア箇所には安全上の理由からデザインを外した。
- 車両の前後に市章と糸満市の文字を入れた。

上記図7を元に、採用者とデザイナーとで調整を行ったラッピング用デザインデータを次頁に示す。なお、いとちゃんバスのデザインは、いとちゃん mini のデザインにも使用する。

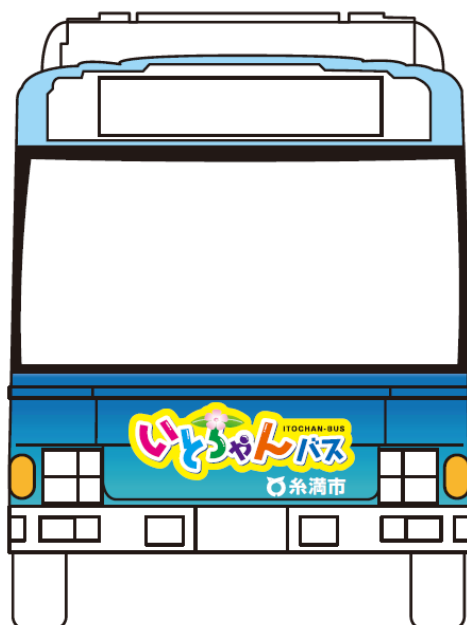
側面左側



側面右側



前面



後面



5-2 ポスター・ブックレットのデザイン及び作成・印刷

(1) ポスターの作成・印刷

ポスターの一番大きな訴求要素は「遠目に見て、一目でわかる」ことである。そのため、訴求要素がいくつもある時には、シリーズ化するという手法がある。いくつもポイントのある糸満市の魅力は、ひとつの紙面に詰め込むよりもひとつの紙面にひとつの要素を打ち出し、しっかりと印象を与えるシリーズポスター「ひかり・みどり・いのり」の3パターンを作成した。



(2) ブックレットのデザイン及び作成・印刷

詳細な情報を多く掲載でき、バッグの中で、他の印刷物に紛れてしまう確率が低く、取りやすいブックレットとした。また、本業務で作成するブックレットはウォーカー向け「糸満観光情報冊子」とした。なお、ブックレットは可能な限り、多言語対応（英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字））を図った。

①コンセプト

「いつでも・どこでも・だれでも～バスで巡る・糸満観光情報冊子～」

- 県外・海外観光客にとっては糸満市の魅力発見、市民、県民にとっては糸満市の魅力再発見となるまとまった形での観光案内冊子とする。
- 冊子スタイルは捨てられにくくとっておく人も多い。観光客にとって、観光の思い出、記念するものとなる。
- 後々も冊子を見て楽しむ、観光した当時を思い出すことでリピーターを生む仕掛けとなる。
- 情報が網羅されているため、何種類もパンフレットや印刷物などをもつ必要がなく、利便性が高い。
- いとちゃんバス及びいとちゃん mini（市内周遊デマンドバス）の情報も掲載。ハンドバッグでも収まるサイズであり、いとちゃんバスの出発時間やいとちゃん mini の問合せ先などが調べられるため、いとちゃんバス及びいとちゃん mini の利用に活用してもらえる。

②いとちゃんバス及びいとちゃん mini のロゴ化

いとちゃんバスのデザイン決定後、いとちゃんバス及びいとちゃん mini のロゴを作成した。このロゴは、いとちゃんバス及びいとちゃん mini の車両ラッピング、ブックレット「みなみのみなみ」、専用ウェブサイトを使用しトータルデザイン化を図った。

いとちゃんバスロゴ



いとちゃんminiロゴ

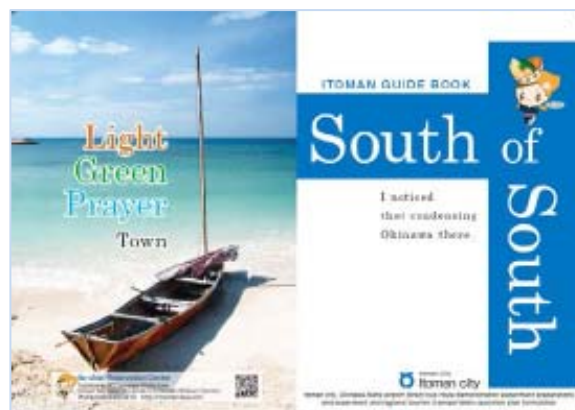


③デザイン及び作成・印刷 ※多言語対応

A5版とし、表紙・裏表紙を含めて全24ページ構成とした。ブックレット「みなみのみなみ」は、可能な限り、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の多言語に対応させた。印刷物は資料編に収録している。



日本語版



英語版



簡体字



繁体字



韓国語

(3) その他情報誌等

①じゃらん net と連携したメールマガジンの配信

国内旅行第1位情報誌「じゃらん」が作った国内最大級のサイト「じゃらん net」の会員へ、メールマガジンを活用し、いとちゃんバス・いとちゃん mini、いとちゃん観光コースの案内を実施した。

じゃらん net のメールマガジンは週1回につき5つの情報を配信しており、本事業は、3月26日(木)に392万人の会員へ配信した。

②横断幕・懸垂幕の作成

実証実験開始の告知として、「いとちゃんバス運行開始」の横断幕2枚と懸垂幕1枚を作成した。懸垂幕は糸満市役所に掲示、横断幕は道の駅いとまん及びその周辺に、実験期間中(H27.5.1~H27.12.31 8か月間(予定))掲示する。

(1300×8000)



(900×1800)



キャラクター：いとちゃん

※商工会により糸満の特産品をPRするために設定

※現在商工観光課にて同キャラクターを使ったブランディングの検討が進められている

5-3 ウェブサイト等の作製

ブックレットと共通したデザイン(トータルデザイン)とし、一般に普及しているURLやQRコード等を用いて各メディア間を横断する利用者の利便性に配慮した。

①ウェブのタイトル

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備・実証実験及び地域観光交通運行計画策定業務

いとちゃんバス×みなみのみなみ

②ウェブのアドレス <http://itochan-bus.com/>

③ウェブの構成

利用者が分かりやすいよう、「いとちゃんバス」と「みなみのみなみ」を分けた構成にした。

「いとちゃんバス」サイトには、いとちゃんバス及びいとちゃん mini の利用方法や、ダイヤ、運賃等バスに関する情報を掲載している。

「みなみのみなみ」には、ブックレットをベースに、糸満カレンダー、まーさんいとまん、いとちゃん観光コースの紹介、観光コース利用にあたっての注意事項、協賛店舗の紹介、バスで巡る糸満観光の例を掲載している。

なお、協賛店舗ではHPアドレスのある施設へはリンクを張った。いとまんカレンダーではイベントの問合せ先を掲載した。

その他、インフォメーション、事業のページ、プライバシーポリシーを掲載した。次年度予定の実験期間中も随時更新を行う。

④ウェブトップページ

The screenshot shows the homepage of the website. At the top, there is a header with the title 'いとちゃんバス × みなみのみなみ' and a date '2015年4月27日(月) 予約受付開始'. Below the header, there are two main sections: 'いとちゃんバス' on the left and 'みなみのみなみ' on the right. The 'いとちゃんバス' section features a map of Naha City with bus routes and a cartoon character. The 'みなみのみなみ' section features a beach scene with a boat and a cartoon character. Below these sections, there is a text block with information about the bus service and a date '2015年5月1日(金) からを予定しております'. At the bottom, there is a footer with navigation links and a copyright notice.

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備・実証実験及び地域観光交通運行計画策定業務

ご予約・お問い合わせは…
2015年4月27日(月)
予約受付開始

いとちゃんバス × みなみのみなみ

糸満市～那覇空港直行バス
いとちゃんバス
糸満市内周遊デマンドバス
いとちゃんmini
いとまんを満喫してね！

ITOMAN GUIDE
みなみのみなみ
気づいたら
そこは凝縮した
沖縄だった！

いよいよ5月、
運行開始！

空港直行バスと市内周遊バス
いとまん観光コースのご紹介

糸満市～那覇空港を直接結ぶ「いとちゃんバス」、市内を周遊する「いとちゃんmini」が公共交通実験として運行開始します。観光客や市民、どなたでもご利用頂けます。さらに糸満市で楽しめる観光プラン11コースを用意。バスの運行で、糸満市の観光・体験、ショッピングを便利に・自由に楽しむことができるようになります。

【重要】観光コースの予約受付は 2015年4月27日(月) から、サービス提供は 2015年5月1日(金) からを予定しております。

インフォメーション
2015.03.26 ホームページ いとちゃんバスサイトをリニューアルOPEN!
2015.01.14 いとちゃんバス ネーミング募集の審査結果

いとまんの魅力をご紹介！
いとまんカレンダー
まーさんいとまん
いとまん開催のイベントをご紹介
いとまんの美味しいものをご紹介

Itoman City
糸満市
沖縄県本島最南端のまち
糸満市観光協会

ページTOP

いとちゃんバス | みなみのみなみ | インフォメーション | 事業について | プライバシーポリシー | サイトマップ |

Copyright © 2015 糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験検討委員会 All Rights Reserved.

⑤PR動画の作成

糸満市観光PR動画を作成した（※別途DVDに収録）

5-4 Wi-Fi(無線 LAN)の構築

直行バスの車体決定後、直行バスの車両（4 台）に搭載する、Wi-Fi(無線 LAN)を汎用Wi-Fi ルーターにより構築を行った。

- ①同時接続数 20 台
- ②ドコモ Xi/LTE（最大 225Mbps、運行ルートでの接続性能の検証済み）
- ③セキュア接続（暗号化方式：WPA-PSK、WPA2-PSK、相互通信不可等）
- ④接続に必要なアクセスポイント名、パスワードは車内ポスターにて告知
- ⑤乗車中の僅かな時間でも利用し易いよう、個別承認、専用サイトへの転送等を省略
- ⑥従来のバス Wi-Fi サービスとの違い
 - ・どの携帯電話会社／タブレット／PC 等でも Wi-Fi 機能があれば利用可能
- ⑦従来の Free Wi-Fi（例：那覇市）との違い
 - ・個別承認手続きが不要なため接続が早い（メールアドレス等の登録が必要ない）
 - ・利用時間の制約が無い（上記個別承認を行っている理由）
 - ・専用サイトへの転送（代理サーバ経由）を行わないため、閲覧不能や不具合が少ない

5-5 営業宣伝活動

バスで巡る糸満観光ブックレット「みなみのみなみ」作成後、那覇空港や、市内観光施設や宿泊施設(市内及び那覇市)、市内飲食店等へ配布した。また、沖縄観光コンベンションビューローの協力を得て、観光コンベンションビューローが主催または参加する観光プロモーションや観光フェア等でブックレットを配布する。

5-6 先進地視察

類似のバス路線(那覇市ゆいゆい号)の営業宣伝活動の効果や運行実績等について参考にするために、那覇市観光協会へヒアリングを実施した。

(1) 事業目的

那覇市を訪れる観光客の多種多様なニーズに応えるための一つの方策として、平成 25 年度に実施する市内の観光地を結ぶ周遊バス運行実験事業を行い、平成 27 年度からは、バス会社独自事業として運行できるようにする。

(2) これまでの経緯

平成 24 年度	運行準備
平成 25 年度	6 月 1 日より運行スタート 午前中 10 便に那覇まちま〜いガイドが乗車
平成 26 年度	8 月 1 日より那覇空港、西側ホテルを含むルート延長 8・9 月と月の乗客数が 10,000 人越え 9・10 月ガイド乗車が土日祝の 10 便へ 11 月よりガイド乗車なし

(3) 事業概要とこれまでの取組み

①事業概要

- 運行形態：路線定期運行
- 運営主体：那覇市観光協会（那覇市からの運営委託）
- 運行主体：那覇バス株式会社

- 路線数 : 1 路線 (片廻り循環型)
- 運賃 : 大人 230 円、小児 120 円均一 一日乗車券 : 大人 660 円、小児 330 円
バスモノパス : 大人 1,000 円、小児 500 円 (那覇バスとモノレール共通一日乗車券)
- 運行目的 : 那覇まちま〜い事業 (観光地元ガイド) と連携した観光周遊バス実証実験で、観光客に市内を周遊してもらうことで着地型観光のモデルとし、将来的にはバス会社の自主運行を目指している。
- 運行頻度 : 2014 年 8 月より平日・休日とも 18 周/日 (9:00~17:30 発、30 分間隔、片廻りのみ)
- 自治体の関与 : 実証実験期間はバス運行に要する経費及び運賃収入見込み額と実収入との差額について補助している。
- その他特徴 :
 - ・那覇市内の観光地、名所、商業施設等を循環する観光周遊バスとして 2013 年 6 月より実験運行を開始。企画、運営是那覇市観光協会 (那覇市より委託) が行い、運行是那覇バスが行っている。
 - ・2014 年 8 月からは運行回数 (25 便→18 便)、運行ルートを変更し、クルーズ船ターミナルや那覇空港まで利用できるようになっている。
 - ・2014 年 10 月まで午前の便には那覇まちま〜いガイドが同乗し、案内を行っていた。
 - ・2015 年 3 月まで実証実験として運行を行い、実験後はバス事業者単独による運営・運行を目指している。

②広報

- ・空港、モノレール車両内
- ・業界情報誌 (機内誌、るるぶ、NAHANAVI 他)
- ・プロモーション (県外旅行社、旅フェア、修学旅行説明会他)
旅行者への情報発信
沖縄向けの個人型商品を造成している旅行者及び航空会社訪問
修学旅行時の市内班別行動の新しい交通手段としての発信
海外向けは沖縄観光コンベンションビューローの協力を得てパンフを配布
- ・メディア (県内、県外テレビ放映)
- ・イベント (ディスカバリーキャンペーン)
- ・研修 (ホテル・旅行社への研修会の実施)
- ・パンフレット作成
- ・ホームページ作成

※平成 25 年、26 年の 2 年間様々な広報を実施し、那覇市民には周知されてきたが、それ以外の県民にはまだ周知は十分ではないので、引き続き広報にしっかり取り組んでいく。

③運行ルート

平成 25 年 6 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日

那覇バスターミナル発着

平成 26 年 8 月 1 日～

那覇空港発着



糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備業務報告書（概要版）

糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験準備・実証実験業務
及び地域観光交通運行計画策定業務

発 行：平成 27 年 3 月

発行者：沖縄県糸満市

〒901-0392 沖縄県糸満市潮崎町 1 丁目 1 番地

電話（098）840-8122 FAX（098）840-8157

編 集：企画開発部政策推進課